

2022.07.31. 苦難に直面する中での忍耐力

ヤコブ 5 章 10～12 節

JD ファラグ牧師

ご承知のように現在、「ヤコブの手紙」を節ごとに学んでいて、今日は、5 章 10 節からです。先週、9 節まで学びました。当たり前のことですが、9 の次には 10 が来ます。意味深ですね。可能な方は、ご起床くださって、私が読むのについてきてください。ご無理な方は、着席したままで結構です。ヤコブは、聖霊によってこう書いてます。10 節、

ヤコブ 5

10 兄弟たち。苦難と忍耐については、主の御名によって語った預言者たちを模範にきなさい。

11 見なさい。耐え忍んだ人たちは幸いだと私たちは思います。あなたがたはヨブの忍耐のことを聞き、主によるその結末を知っています。主は慈愛に富み、あわれみに満ちておられます。

12 私の兄弟たち。とりわけ、誓うことはやめなさい。天にかけても地にかけても、ほかの何にかけても誓ってはいけません。あなたがたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」でありなさい。そうすれば、さばきにあうことはありません。

祈りましょう。よろしければ、一緒をお願いします。

父なる天の神様。今日、私たちが、あなたの御言葉の中にあるこの時間を心から感謝します。今朝はどうしても、聖霊が私たちの教師になって下さる必要を痛感します。御霊（聖霊）が、私たちの注意を引きつけ、心が彷徨わないようして下さる必要があります。

主よ、今日のこの御言葉で、あなたが私たちにご用意されているものをなにも見逃したくありません。ですから、主よ、特にこの題材について、あなたがいつもなされるように、ご忠実に、はっきりと、シンプルに、私たちの人生にお語りくださいますように。主よ、私たちは今日共に過ごす時間を無駄にしたくありません。私たちの誰もが、それを望んでいません。

主よ、お語りください。あなたのしもべたちが聞いています。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。今日、私が皆さんにお話ししたいのは、私たちクリスチャンが、苦しみに直面した時、どうやって忍耐強く耐え抜くことができるかです。私たちの苦しみが激化しているのは、私たちの本当の家ではないこの世に長く滞在しすぎたからだということに、同意されると思います。私自身、主との時間の中で考え、私たちが知っている通り、携挙直前のこの終わりの時、苦しみが増していることを、よく主に尋ねます。私が主と過ごす時間の中で得た教訓の一つは、もし世が、そんなに良いところなら、ここを離れたくなくなるということです。それについて、証人になってもらえますか？ —(笑)— 真実ですよ？ 物事がうまくいっている時は、こうです。

「主よ...来てくださいよ〜。早めに。」逆境に立たされたなら、「主よ〜〜〜、早く来てください！！今すぐ！！昨日だったら最高でした。」それが苦難で苦しみです。人生における試練は、私たちがこの世と、この世の事柄に対して握り続ける力を、緩めます。神はしばしば、他に理由がないとしても、私たちが家に帰りたくなくなるような苦しみを許されるのだと思います。この世は、私たちの家ではないのですから。私たちの最終目的地ではありません。では、今日の御言葉に入りましょう。この箇所は、この時代の私たちの苦しみに関連する特異性から、こんにちの私たちに大変ピッタリです。今回も、励みになるものを3つ見つけました。もっと多くあるかもしれませんが、苦難に直面しても耐え忍ぶことの励みになる

例が3つ以上あります。ヤコブがここでしていることが大好きです。これまで述べてきたことに加えて、旧約聖書の例を引き出そうとしています。そうなるのは、「ヤコブの手紙」が)新約聖書の最初の手紙だからです。皆さん知ってましたよね？パウロがまだ手紙を書いていない時期なので、パウロの言葉を引用することはできません。そのため、ヤコブは、人々が十分に理解し、関連付けられる、これらの事例を引き出します。これらは、苦難に直面しても忍耐することへの偉大な神の例えです。最初のものは10節です。「人気のない真実を語ることで、苦しみに直面しても忍耐すること。」

ここでヤコブは、主の御名によって語った預言者たちを例にし、苦しみに直面したときの忍耐について説明しています。ここで、預言者の役割が何だったのかを理解する必要があります。預言者はその時代、人気がありませんでした。神の御言葉をあずかる者として、人々に警告を発する者として召された為です。よくこれらの預言者たちは、主の御名によって語り、預言したため、全員殉教者として死んだと言えるでしょう。ちなみに木曜日の夜、「エレミヤ書」を学んでいます。私たちは、この「涙の預言者エレミヤ」をよく知るようになってきました。彼は、人々が喜ばない真理を語り、それに伴うのが、痛みと苦しみでした。不人気どころではありません。SNSでの高評価どころではありません。SNSでブロックされるところではありません。そんなことでなく、彼は、命の危険にありました。悲しいことに、その脅威は自分の家族から来ていました。木曜日の夜、「エレミヤ書」を節ごとに学んでいます。預言者たちがいかに不人気だったか。「裁きが来る」と預言するからです。ですから、なんとピッタリでしょうか。ヤコブは、預言者たちが苦しみに直面しても忍耐したことを例に挙げているのです。義のための苦しみを。何がそんなに重要なのか、その一つは、まず、その教師について語っています。皆さんにそれを知ってほしいのです。木曜日の夜、日曜日の朝も。なんという組み合わせなのでしょう。「ヤコブ」と「エレミヤ」ですよ。冗談でしょうか？しかし、そういう教師が語られていて、私は大変とても勉強になります。特に、これこれ、こんにちの私たちの現状ではないですか？試してください。ええ、試してとは言うまでもないことで、皆さんもうされていると思いますから。というのも皆さんのSNSでの投稿を見たり、皆さんのSNSでの投稿の結果として来るコメントを私は見ます。皆さん、理解しないとイケません。自分が時代に逆らっているんですよ。自分が投稿したものが不人気で、その結果、迫害され、そのために苦しむのです。ヤコブが語るのは、そういうことです。現代は、預言者たちの時代の苦しみとは比較にならないことは分かっています。イエスは、「マタイの福音書5章」でこのことについて仰っています。10節から、皆さんよくご存じですね。これは厳しいものです。こう仰いました。

マタイ 5

10 義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその人たちのものだからです。

そして、11節にはこうも仰います。

11 わたしのために人々があなたがたをのしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。

祝福です！ さあ、正直になりましょう。誰かが、あなたに対してあらゆる種類の悪口を言い、不当に非難するとあなたは、どう対応しますか？(うわ〜い！やった〜！) イエ〜イ！ いいえ。私はそうしません。では、どうするのですか？ イエスは、私たちに命じられたことを実行する御力を与えず、何かをしなさいとは仰いません。ですからイエスは、次にこう仰います。

「あなたがたは、わたしのために迫害されています。そのレンズを通して見なさい。」

12 喜びなさい。大いに喜びなさい。天においてあなたがたの報いは大きいのですから。あなたがたより

前にいた預言者たちを、人々は同じように迫害したのです。

ああ、そうなのか.....それで全様相が少し変わりますよね。「だからあなたは、私の悪口を言いたいのですね。私に対して悪口を言い、不当に責め、侮辱するのですね。」

そう、私のメール受信箱なんて、皆さん見たくもないでしょう。真っ向から意地悪な人もいます。もちろん、イエスの御名のもとに言いますが。個人的に受け取らないようにするのは、難しいです。傷つきます。これまでに語られ、歌にされた最大の嘘が何であるか知っていますか？

「棒や石で私の骨を折れるかもしれないが、言葉は私を傷つけることはできない。」マジですか？ 棒や石で私の骨を折れるかもしれないが、言葉は、完全に私を打ちのめせますよ。特に、何らかのミニストーリーをしている人にとっては、当然のように言われているのが、子どもの心、学者の心、そしてサイの皮膚が必要。薄い皮膚では耐えられません。ところで、イエスは仰いませんでした。仰ってほしかったのですが、「もし」という言葉を使われませんでした。私は仰ってほしかった。

「"もし" "たまたま"誰かがあなたを侮辱したり、迫害したり、悪口を言ったりするなら、、、」いいえ、イエスは「その時」と仰います。私はこの文脈での「その時」という言葉が好きではありません。「それが起こる時。」それは起こるべくして起こり、実際に起こります。ここであなたの対応の方法と、なぜそういう対応が可能かを説明します。あなたには、大きな報酬が待っているから、それを祝福と思いなさい。あなたは当時の預言者たちと同じなのです。再び、この神の人、神の預言者エレミヤのことを知り、考えてみましょう。エレミヤは、大変繊細な人だったんですよ。優しい心の持ち主で、とても柔和な人でした。特に、自分の家族が自分を殺そうとしているのを知ったとき、エレミヤは、深く傷つきました。それは彼にとって、大変ショックだったに違いありません。しかもこれは、エレミヤの40数年に渡るミニストーリー初期の話です。神はエレミヤを整え、しっかり準備し、警告されます。

「彼らはあなたを憎むようになり、あなたの命を狙います。しかし、あなたの報いは大きいのです。わたしの御名によってしているのだから、わたしのせいで迫害を受けるのは当たり前なのです。」

イエスは言われました。「世はあなたがたを憎みます。」(ヨハネ 15:18 参照)

「実際、人があなたのことをよく言う時、気をつけなさい。」私たちは「ヤコブの手紙4:4」で、学んだばかりです。「世を愛することは神に敵対すること、自分を神の敵としている。」それは霊的な姦淫です。もしあなたが、世から愛されているなら、あなたは大きな問題を抱えます。もしあなたが世の友なら、神の友にはなれません。もしあなたが神の友であるなら、世はあなたを憎みます。イエスは仰いました。

「それはあなた自身のことだと思ってはいけません。あなたがわたしと繋がっているから、世はあなたを憎むのです。彼らがあなたを憎むのは、わたしを先に憎んだことを知っておきなさい。」あなたは良い仲間ですよ。神の子、受肉した神のように、私が迫害され、憎まれるなら、かかってこんか〜い！

迫害と侮辱、かかってこい！ 何人かの方は、「そんなこと言って本当にいいの？」という顔をしていますね。おそらく、この件で試練を受けるでしょうね。もう受けていますが。再試練を受けなければならないかもしれませんが。使徒ペテロの「第一ペテロの手紙3章」を聞いてください。14節からです。

I ペテロ 3

14 たとえ義のために苦しむことがあっても、あなたがたは幸いです。人々の脅かしを恐れたり、おびえたりしてはいけません。

15 むしろ、心の中でキリストを主とし、聖なる方としなさい。あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしておきなさい。

16 ただし、柔和な心で、恐れつつ、健全な良心をもって弁明しなさい。そうすれば、キリストにあるあなたがたの善良な生き方をののしている人たちが、あなたがたを悪く言ったことを恥じるでしょう。

そして 17 節、こう語ります。

17 神のみこころであるなら、悪を行って苦しみを受けるより、善を行って苦しみを受けるほうがよいのです。

あ〜、これで私の心が安定します。心が落ち着きます。聞いてください。「私は苦しむのですか？ なぜですか？」「私は、義のために苦しみます。神が命じられることを行うので、私は苦しんでいるのです。ですから、それは名誉の印です。」

2 つ目は 11 節、これはもうちょっと難しいですね。お付き合いください。「まったく理に合わない苦しみに直面しても、忍耐すること。」それでヤコブは、預言者たちの苦しみの例から、ヨブの例へと話を進めます。う”〜 正直言って、ヤコブが、ヨブの忍耐とその結果もたらされた祝福について語る事は、私の中に多くの感情を呼び起こします。私がそう言う理由は、、、皆さんの中には、2018 年に学んだ節ごとの「ヨブ記」の学びを覚えている人がいるかもしれません。これを私自身に言う時、たぶん皆さんのためですが私にとって人生が変わる学びでした。それが私の人生を変えました。苦しみの捉え方が変わりました。第一章、私にとって人生を変えました。以前読んだことがあったから知っていましたが、ヨブの苦しみは、論理的に全く理に合わないと、本当に理解した時、それが最大の苦悩でした。私の人生を変えたのは、多くの皆さんもそうだと思いますが、自分が今苦しみに見える事は、自分のやり方は、神のご方法と違い、自分には神のご方法やなされる理由は分からないから、ヨブ記の学びを始めて、まず直ちに明らかになったのは、「なぜ？」という問いには答えてもらえないということです。それに奮闘ですよ。それが、苦しみに対する最大の葛藤の一つではないですか？ 私たちは心の安らぎを求めます。私たちは、理解に相對して、平安を求めます。よく聞いてください。これが、敵があなたの心を迷わせようとする一つです。これを見落とさないでください。どうかこれを見逃さないでください。私たちはそれを「安心感」と呼びます。「ああ、今分かった。ああ、そうなのか。」と。ヨブには、それが得られませんでした。

ポイントは？ 私のポイントは、真の平安はそのような方法では決して訪れないということです。もし、あなたの人生の平安が、自分の試練、痛み、苦しみに對する、理解を前提にしているなら、せいぜいそれは、つかの間のもので、長続きはしないでしょう。再び、ヤコブのことを考えます。

「私の兄弟たち。様々な試練にあうときはいつでも、この上もない喜びと思いなさい。」(ヤコブ 1:2)

繰り返しになりますが、最初のそれだけで不条理なのですが、最後までやり遂げなければなりません。どうやってそれが可能なのでしょうか？ なぜなら神が、何をしておられるのかをあなたは知っています。神は、あなたが苦しんでいる試練の中で、その試練を通して、あなたに必要なもの、すなわち、忍耐力を備えてくださるのです。あなたは祈ります。「神よ、私は耐えられる忍耐力が必要です。」神は仰います。

「OK。あなたに耐えられる力忍耐力を与えます。」今がいい機会でしょうか？ 私たち、もうその中にいますから。「ひ〜、でも神様、私はこの試練の真っ只中にいますよ。」「分かっていますよ。だからそこで我慢と忍耐を得て、乗り越えるのです。その中で生み出されます。」そして、これも伴います。あなたが理解できなくても、平安を得ることができる所へとあなたを導く事。それが真の平安です。これこそが、イエスが**「この世が与えるのではない平安を与えるために来ました (ヨハネ 14:27)」**

と言われた平安です。世が与える平安は、人生ですべてがうまくいくことを前提にしています。じゃあ、物事がうまくいっているときだけ平安を感じるなら、私が、今考えていることは、たぶん皆さんも同じで

しょう。月に1分間は、平安を感じるかもしれません。それくらいしか、物事がうまくいっていないのですから。しかし、この平安は、あなたの周りすべてが全く混乱し、混沌としているときに訪れます。これは、超越する平安です。超越しています。これが、ヨブの例で教師が語られている事で苦しみに対する理解なくして、真の永続的な平安を手に入れることが出来るのです。私は、神のご方法とされる理由を分からないでしょう。苦しみの中にあっても喜びの杯を飲むためにはそれをよしとしなければならないのです。さて、よくご存じの「箴言3章5節から6節」です。私たちはこれを言い、歌い、暗記しますね。

箴言 3

5心を尽くして【主】に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。

6あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。

別の翻訳では、「主はあなたの道を平らにされる」と表現しています。神は、道をまっすぐにされます。

「ええ、でもよく分かりません。」「まあ、それはよかった。なぜなら、あなたが理解したら、自分の理解に頼るでしょう？ 自分の理解に頼ると、わたしを認めなくなります。」あなたが主を認めるのは、いつですか？ 私たちが理解できない時です。「主よ～、私は理解できません！」「分かっています。さあ、わたしを認める時です。しばらく連絡がないので、あなたが理解できないようアレンジしておきました。」ではこれはどうでしょう。「心を尽くして【主】に抛り頼め。」私たちはいつ、心を尽くして主に抛り頼みますか？ 何が起きているのか理解できない時です。「主よ、何をなさっているのですか？」「お～、どうやらあなたはわたしを信頼しなければならないですね。」「いえ、でも私は、全てをコントロールしたいのです。自分が知りたいし、見たいし、理解したいのです。」いいえ、そういう仕組みではありません。なぜなら、あなたが求めている事は、そのことへの理解であり、そうすれば、あなたは心の平安を得られるのです。お～、これで分かりました。OK。今、分かります。

「そう、そうすると、あなたはわたしが不要ないでしょう？」これが、私が3つで1つと呼ぶもので、もう一つはこの後話しますが、それは、3つです。

- 1) 心を尽くして【主】に抛り頼み、
- 2) 自分のすべての道において主を認め、
- 3) 自分の理解に頼らない。

3つの前提条件です。”もし”、この3つが満たされるなら、神は私の道を指し示されます。なぜなら、私はその3つを神に引き渡したからです。「主よ、これは興味深いことになりそうです。私自身、すっかり混乱させましたから、あなたが、どうまっすぐにしてくださるのか、本当に興味深いです。」自分で理解しようとししないでください。それは私に、全く意味がありません。ヨブについてまず言える事は、彼の友人たちは何の役にも立ちませんでしたよ。彼らが何も言わなかった7日間、彼らはきっと、、もういいですね。ヨブ記を教え直すつもりではありませんが、しかし、それは私にとって非常に示唆に富むものでした。しゃれではありません。彼らはただそこに座っていました。彼らは言葉を失いました。彼らは何も言えませんでした。問題は、彼らが口を開き、ヨブに、罪を告白していないと、非難し始めたときから始まります。「あなたは、きっと何か罪を犯している。そうでなければ、このように苦しむはずはない。」これが私たち自身の理解です。私たちは空白を埋めようとします。神は仰います。

「そんな理由じゃありません。それがあなたの考える理由ですか？ わたしのやり方、わたしの理由を知っているのですか？ あなたは何も分かっています。わたしが何をしているのか、あなたには決して分からないでしょう。」でもヤコブは、ヨブを例に出し、忍耐について語り、訪れる祝福は、彼が苦し

んだからではなく、苦しみを忍耐したからこそ数える祝福なのです。これがキーワードです。神が天国でこう仰っているではありません。「ヨブがもがく様子を見よう。」そうではなく、神のなさる御業があるのです。時に、神はその苦しみをお許しになる事が必要だと見なされます。なぜなら、それこそが私たちが必要とする忍耐、辛抱、堪え性を得るための唯一の方法だからです。お～他に方法があればいいのですが。ありません。もう一つの3つで1つの話をしましょう。「ピリピ人への手紙4章」、6節からです。

ピリピ 4

6 何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。

7 そうすれば、すべての理解を超えた神の平安が（これ覚えておいてください）あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。

8 最後に、兄弟たち。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判の良いことに、

...皆さん、ここまでどうですか？ いい感じですね。

...また、何か徳とされることや称賛に値することがあれば、そのようなことに心を留めなさい。

9 あなたがたが私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを行いなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。

待って。平和の神からの、神の平和。私もそれをいただきたいです。さて、前提条件があります。3つです。

- 1) あらゆることを神に感謝すること。
- 2) あらゆることを神に祈り、
- 3) 何も心配しないこと。

私たちはそれを逆さまにしています。私たちは何でも心配し、私たちは何も祈らないし、神に感謝もしない。考える(think)の語源が感謝(thank)であり、その逆でもあるのをご存知でしょうか。だから、聖霊に促されこの8節～9節があるのです。

「人は、心で思っている通りの者」(箴言 23:7 参照)

ですから、これら(3つ)を考えていると、神に感謝することになるんです。それを”考えて”みれば、神に”感謝する”ことがたくさんあります。

では、告白の時間です。変な目で見ないでくださいね。深刻なことは告白しませんから。先週、そんな日がありました。何の話か分かりますね。最近、よく起こるようになった気がします。ちょうどこの日、ちょうど...こういう日は、こう言えば分かると思います。ベッドに戻って、やり直したくなるような日。それくらい酷い。私は.....もちろん、敬虔に、牧師として神に仕える者ですが、しかし、私の神聖さが逃げていき、気がつく、恐ろしくて心配で、恐怖が襲ってきました。私たちの思考は、最悪のシナリオを作り出すのが得意です。そして、考え始めます。「わお、もしあんなったら、こうなって、こうなれば、そうなる可能性もある！！」心配と恐怖は、あなたを思いのままにその道に連れて行くでしょう。それで、私は行ったんですよ。私はわざわざその道を通ってきました。最後まで行ってしまった時には、「お～～、神よ～～！」という感じです。主は私を見て仰います。「あなたは何をしてるのですか？」そして、主はキッパリ言い切られました。

「なぜいちいち気にするのですか？ あなたは何も心配しないでください。あなたは何も心配すること

はありません。わたしに感謝し始めなさい。」それで、しました。止められませんでした。そのリストがどれだけ長いかわかっていたことがありますか？ ちなみに、必ずしも大きな事ではありません。「神よ、これに感謝します。」つまり、言いたいのは、神に感謝すると、10桁もの感謝すべき事があります。でないと、タイピングやテキスト入力するのはとても難しいですからね。「神よ、小さなことも感謝します。これも感謝、あれも感謝します。」それがあなたの心を再調整します。「人は心の中で思えば、その通りになる。」そして、神に感謝し始めると、すべて良いもの、純粋なもの、美しいものを考え/感謝します。あなたは、神が応えてくださったすべての祈りに感謝し始めます。私の場合は、ほぼ1時間の間に、平安の神から神の平安を得ます。全てこれが故にです。そう皆さんに言わなかったし話しませんけど、私はまだ理解していませんよ。しかし、私には平安があります。理由はまだ分かりません。「主よ、理由は分かりませんが、でも私は平安を得ることが出来ます。」なぜなら、主は知っておられます。ご自分が何をしておられるか知っておられます。ええでも、私たちの問題は、主が何をされておられるのかを知りたい事。

「わたしが何をしているのか教えてあげたいのですが、問題は、あなたは有限で、わたしは無限。わたしが伝えようとしても、あなたには理解できないでしょう。わたしがあなたの「なぜ？」の質問の1つに答えようとしたら、さらに100の質問が出てきますから。またちなみに、あなたはわたしのやり方や理由を説明されたくはないのですよ。そうなれば、信仰によってではなく、見る事で歩むことになりますから。ただわたしを信じなさい。わたしに感謝しなさい。これらのことを考えてください。」

思考の力は全身に影響を与えるという研究がありますよね。心配事や恐怖心、思い悩めば、身体に壊滅的なダメージを与えます。消化器系に影響を与え、髪にも…。私の話で拘っていますが。すべてに影響を与えます。神経系にも。身体を壊します。

では3つ目。私たちはこれをせねばなりません。これも厳しく、12節、

「信頼する友人の裏切りによる苦しみに、忍耐すること。」初めて読むと、12節は、「天にかけても地にかけても、ほかの何にかけても誓ってはいけません。あなたがたの「はい」は「はい」、「いいえ」は「いいえ」でありなさい。」まるで挿入句みたいで、ヤコブがこんな風に、「そうそう、"はい"は "はい"です。」で、合っていないように思います。いいえ、合っています。よろしければ、それが合っている理由を説明します。ヤコブは、自分の発言を守ることに話をしています。現代では、存在しないとは言い切れませんが無縁になっています。「聖書に誓って」という趣旨のことを言う時、「なぜそうする必要のあるの？あなたの発言では不十分なの？」「母の墓に誓います。」「なぜそうする必要のあるの？」あなたは、明らかに自分より信頼性の高いものに誓わねばならない？「聖書の山に誓う」みたいなことを言う人がいますね。わお～それって実にマズいです。つまり、信用できないということです。そうではなく、あなたの「はい」は「はい」を意味し。あなたの「いいえ」は「いいえ」を意味する。ここで語っている事が何だと思えますか？もしかして、彼らはこのせいで苦しんでいたのでしょうか？言わば、クリスチャンは聖書に誓えます。しかし、真実は、クリスチャンは総体として、大まかに言うと、苦しみを、信用を失いました。それもそのはず、この裏切りにあうと、不必要に大きな苦しみを生むレベルにまで達してしまうと思えます。本当に言い過ぎかもしれませんが、自分が信頼を裏切られたときどれだけ打ちのめされるか。誰かがあなたに約束し、その約束を破る。ここに問題があります。挙げ句の果てに、人は、苦味の根を発芽させることができ、その結果、必ず苦い実を結びます。ここがポイントですが、辛辣な裏切りとなると双方作用です。ダビデとアヒトフェルほど良い例はありません。詩篇41篇9節に注目ください。その後には裏話を話します。ダビデはアヒトフェルのことを言いました。

「人が神のことばを伺って得ることばのよう」(第二サムエル 16:23)

ダビデが最も信頼する助言者でした。そして彼はこう書いています。

詩篇 41

9 私が信頼した親しい友が私のパンを食べている者までが私に向かって かかとを上げます。

何があったのか？ なぜアヒトフェルはダビデを裏切ったのか？ 苦みです。どういう意味ですか？ ダビデの最も信頼する助言者であった男が、今や、ダビデの息子アブサロムと共謀して、ダビデを王座から引きずり下そうとするだけでなく、殺そうとしている。アヒトフェルは裏切られたと感じていました。なぜなら、バテ・シェバが自分の孫娘でした。だから決してダビデを許しませんでした。

ダビデに裏切られたと思いました。しかし、神はダビデを許されました。神はダビデを回復させられました。ここでアヒトフェルが座りながら、ただ焦り、煮えくり返り、復讐を果たそうと待ち構えています。そして、アブサロムが自分を呼ぶと、、、アヒトフェルは電話のそばで待っていました。(第二サムエル 15:12 参照)

「おお、我々はクーデターを起こし、多くの人を味方につけた。一緒にどうだ？ 私は準備が出来ているぞ。」「時間と場所を指定ください。」非常に興味深い記述です。アヒトフェルは、アブサロムにダビデを殺すのに最適な方法を助言します。もしもアブサロムが、アヒトフェルの助言に従っていれば、、、しかし神が当然それをお許しになりませんでした。うまくいくはずだったでしょう。とにかく、アヒトフェルは、自ら命を絶つという結末を迎えます。(第二サムエル 17:23)

それくらい酷かったのです。しかし、考えてください。今日、ここにいる人あるいはオンラインで見ている人たちの中に、信頼していた友人に裏切られ、辛い思いをしている人がどれだけいるでしょう。今日の私たちのために、ヤコブが聖霊によって書き記したこれらの例で、皆さんを励ましたいと思います。その苦しみの中でも、あなたは耐え抜けます。あなたの前にたくさんあります。神はご忠実なお方です。昨日も今日も、そして永遠に同じ神です。ええ、あなたは多くの友人を失いました。人気のない真実を話したために、あなたはバンされ、ブロックされ、追放されました。ええ、あなたは今、全く理に合わないことを経験しています。あなたは、そんな中でも耐えられます。ええ、あなたは裏切られ、言いようのないほど傷つきました。それも耐えられるのです。どうやって？ 聖なる御言葉の「何」を行うのを可能にする聖霊の「ご方法」です。聖霊は慰め手で、助け手で、私たちの内におられる神です。私たちを力づけ、可能にし、すべての真理に導いてくださいます。それが、デュナミスです。英語のダイナマイトの語源、それが力なのです。なぜなら、そう私たち自身には、苦しみに直面して耐え抜く強さ、力がありません。しかし、神は。私たちに宿り、私たちを可能にしてくださる、私たちに忍耐する力を与えてくださいます。締めくくりますが、ここにいるどなたか、オンラインで見ているどなたかにとって適切な言葉だと思います。あなたの今の状況は、とても不可能です。神のご設計で、あなたは証するのです。超自然な領域で、神の奇跡的な御手が、その状況が複雑で、不可能で、信じられないような、困難なものでなかったなら、神以外他の方法ではできない事をなさるのを。あなたは、数少ない杯から味わうのです。そのおかげで、あなたは他の人よりももっと親密に神を知ることができるのです。もう二度とこんな目に遭いたくないと思う一方それが苦痛で、困難であったとしても、神がなさってくださった事は、何にも替えられないでしょう。そしてあなたは、心を尽くして神を信頼することの本当の意味を、これを通して学ぶことになるのです。生半可な「ええ、私は主を信頼しています。」ではなく。ちなみに木曜日の夜、「エレミヤ書 17章」、聖餐式もありますが、お話しするのは、ネタバレですが、実はタイトルは、「私は本当に神を信頼し

ているのか」です。私は本当に主を信頼しているのか、それとも自分の心を信頼しているのか。聖霊に導かれたエレミヤは語ります。

「人の心は何よりもねじ曲がっている。あなたはそれを知ることさえできない。」(エレミア 17:9)

「お～、あなたは良い心があります。」「いいえ、ない。あなたは欺瞞に満ちた邪悪な心がある。」「エレミヤ書の学び」を今するつもりはありません。しかし、さっと言います。どう言えばいいでしょうね。

こう言います。「あなたは自分の嘘を信じられる。あなたの心があなたに嘘をつき、あなたはそれを信じる。あなたの心があなたを欺いている。お～あなたが信頼しているのは、、、(自分の嘘。)」

「私はただ自分の心を信じ、従っているだけですよ。」「自分の心に従ってはいけない。それはあなたを欺き、あなたを間違った道に導きます。欺瞞に満ちた邪悪なものです。」「私たちの心はとても腐敗しており、自分自身を欺くことができるほどです。それを自己欺瞞といいます。それで私の心はこのことを私に教えていて、自分で「OK」と思っているんです。嘘だ！嘘つき！鏡の中の自分を見て、言いなさい。「私は人生で一番の嘘つきを見ている。」私のことです。私の心です。心を尽くして主を信頼しなさい。あなたは学ぶことになります。神がこう仰るのを決して想像しないでください。「わたしがあなたに教えてやる！ 教訓を学ぶまで、あなたを苦しめる。」違います。もっとこんな感じです。

「あなたに足りないから、わたしはこれを許しているのです。わたしはあなたをとっても愛しているから、そんなあなたを見たくないのです。あなたに欠けているものを与えます。あなたに欠けているものを与えるには、この試練を許すしかありません。あなたには忍耐力がなく、辛抱が足りないからです。なので、わたしがあなたに忍耐、辛抱、我慢を与える方法は、試練を通してです。」

「あなたは信頼に問題があります。あなたは...本当にわたしを信頼していませんね。ではわたしは、あなたの人生に、あなたがわたしを信頼する何かを許可します。そして、あなたはわたしを信頼できるので、やってよかったと思うはずですよ。そしてその時...」これで最後です。もう締めると言いましたが、これが最後の締めくくりです。しかし、皆さんが切望するその平安。皆さんに言いますが、主が信頼できること、主が善良であることを味わい、見て、その喜びと平安の杯を飲むと、溶け崩れますよ。他にどうやって、その杯から味わえますか？ 苦しみの杯を飲むことによってです。なぜなら、そこから生じるのです。そうやって来るのです。

「あなたには欠けているものがあり、わたしはあなたにそれを与えたいし、こうやって与えようと思います。」必ず成功します。我慢するのです。どんな苦しみに直面しようと、その苦しみを引き起こされたお方の御手によって。待ちきれません。待ちきれません。皆さん、何のことか分かりますね？ 皆さん分かりますよ。お立ちください。カポノは上がってきてください。

天のお父様。私は最善を尽くしました。再度、あとは聖霊にお任せします。お～主よ、あなたがヤコブを導かれ、私たちの前にいた預言者の苦しみ、ヨブのような言いようのない苦しみを思い出させて下さる箇所の一つです。そして、個人的ですが、信頼を裏切った者の手による苦しみです。主よ、あなたがヤコブに書かせられたその忍耐が、私たちの生活で現実となるように祈ります。それは約束です。約束ですから、あなたは私たちとの約束を破ることはお出来になられません。ですから主よ、そうなさってください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7